

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
臨床実習2							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名			実務経験	
鍼灸学科・夜間部	2年	1・2期	中村 幹佑			○	
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	臨床実習			実技	1	23	
科目概要							
附属施術所において教員とともに患者と接し、教員の指示のもと、医療面接、四診法・身体診察などの情報収集や、取穴・刺鍼・施灸といった行為の一部を行う。							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標		鍼灸師として基本的な施術ができるようになるために、疾病の診断・治療・予後評価に必要な基礎的知識を習得するとともに、それに必要な臨床的技能と態度を身につける。					
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)		<ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者としての自覚をもち、責任ある行動がとれる。 ・患者の抱える問題点に共感することができる。 ・患者に対し、指導教員が指示した身体診察や四診法を実施できる。 ・面接・検査所見および指導教員の治療内容などをもとに、症例を検討することができる。 ・指導教員が指示した経穴および部位に刺鍼・施灸できる。 					
履修に必要な予備知識や技能							
刺鍼・施灸の基礎技術							
教科書・参考書							
受講上の注意							
患者の個人情報の取扱い、プライバシーへの配慮に十分注意して下さい。 カンファレンスは積極的に参加して下さい。 白衣で受講して下さい。患者着や私服での参加は認めません。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)			100%				100%
	"1クール(4~5回)に一度のレポート提出をもって単位を与える。 提出回数は全5回。全て提出する事。 内容は以下の通り。 ①学んだ事・気づいた事 ②自身がこれから取り組むべき課題 ③その他自由記述欄 ※レポートはカルテではない事に注意。詳細は別途説明致します。 ※文字数の指定はしませんが常識の範囲内で書いて下さい。						
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		

令和4年度 授業計画書(シラバス)

第1回	毎回付属施設にて臨床見学と補助を行います。		
第2回	以下のような内容を教員の指示のもとで実施します。		
第3回	【医療面接】		
第4回	・傾聴する。		
第5回	・共感的態度をとる事が出来る。		
第6回	【診察法】		
第7回	・身体各部の主要なランドマーク(骨など)を触知する。		
第8回	・舌診、脈診(脈状診・六部定位脈診)		
第9回	・腹診(難経六十九難・湯液)		
第10回	・切経		
第11回	【取穴(要穴)】		
第12回	・八会穴		
第13回	・下合穴		
第14回	・四総穴		
第15回	・五俞穴		
第16回	・五行穴		
第17回	・五要穴		
第18回	【刺鍼技能】		
第19回	・ほぼ無痛で弾入切皮を行う。		
第20回	・指定された方向(角度)に刺入する。		
第21回	・指定された深度に刺入する。		
第22回	・指定された補瀉手技を行う。		
第23回	【施灸技能】		
	・適切な温度での透熱灸を行う。		
	・適切な緩和加置を行う。		
実務経験と本講義との関連について			
大森北整骨院、横浜医療専門学校附属鍼灸院、敬心鍼灸院などで10年以上臨床に関わってきました。			
メールアドレス			
nakamura@nihonisen.ac.jp			